

2回生 必修教科「社会」授業のシラバス

教科名	社会	科目名		単位数	105	時間
科目の目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。					
教科書	新編 新しい社会 地理（東京書籍） 新編 新しい社会 歴史（東京書籍）	副教材	地理の資料（正進社） 学び考える歴史（浜島書店）			

地理分野60／歴史分野45

1 学習の目標

- （1）我が国の国土を歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- （2）社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

2 学習の方法

- （1）予習について
（地理分野）教科書を読んでおいてください。学習する地域や国の地図を見ておきましょう。
（歴史分野）教科書を読んでおいてください。（授業開始前の数分程度で良いです。）
- （2）授業について
（地理分野）地図や統計グラフなど様々な資料や情報を収集し、効果的に活用しながら課題を追及しましょう。調べたことを比較したり、関連付けたりして地域や国の特徴を考え、白地図や自作の地図、レポート等に表現する方法を学びましょう。自分の生活と関連付けてみましょう。
（歴史分野）毎回教科書中の史料や資料集の写真・地図などをながめてマークしてもらいます。ノート・教科書・資料集の3つがきちんとつながるように、ノートに「教p20参照」とか「資料p68参照」とか、書き加えておくとう良いです。社会科の授業の発言・発表は、失敗・間違い大歓迎です。そこから授業が深まっていくものです。「失敗は成功の母」です。「何故?」「どうして?」という発想を大切にしてください。自分の生活と関連付けてみましょう。
- （3）復習について
（地理分野）授業があった日には、必ず復習をしましょう。テキストや単元テストを繰り返し反復練習しましょう。
（歴史分野）授業があった日には、必ず復習をしましょう。テキストや単元テストを繰り返し反復練習しましょう。

〈学習アドバイス〉

- （地理分野）普段から地図を見る習慣を身につけ、授業や総合的な学習の時間などで扱われた地域や国、地名などは、すぐに地図で調べ、その地域の場所や地理的な特色を調べるようにしましょう。「なぜ?」「どうして?」と地域的な特色の理由や背景を考えるようにすると、単なる暗記ではなく、地理的な特色を説明できる知識が身につきます。
- （歴史分野）覚えることが苦手な人は、①声に出して問題を解く。②書きながら覚える。③何度も繰り返して覚える。覚えることが得意な人・得意になった人は、①問い：「源頼朝が幕府を開いた場所はどこ?」答え：「鎌倉」→で満足するのではなく、鎌倉がどこにあるのか調べましょう。②問題をひっくり返してみよう。問い：「鎌倉に幕府を開いたのは誰?」答え：「源頼朝」という具合に。覚え方を覚えて、覚える喜び、学ぶ楽しさを身につけましょう。

3 評価について

（1）評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しえいととも、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べている。
②思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
③主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

（2）評価の方法（以下観点①～③は「（1）評価の観点」と対応する）

観 点	評価材料	定期 考査	単元 テス ト	小 テス ト	実技 実習	発言 発表	作品	レポ ート	ノ ート	ワー クシ ート	討議				
①知識・技能		◎	○	○						○					
②思考・判断・表現		◎	○	○				◎		○					
③主体的に学習に取り組む態度						○			○	○					

〈担当者からのメッセージ〉

- （地理分野）白地図やノートの作業の結果も日常の学習評価の対象となります。課題は丁寧に取り組みましょう。
- （歴史分野）提出物は期日通りに出しましょう。

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探求心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊 重の心	強くし なやか な心身	日本人 としての 誇り	多様性 の尊重
関心 ・意欲	問題 発見力	情報 収集力	論理的 思考力	共感的 態度	意見交換 ・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心をもち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されことなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さや健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体をもち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画 ※【知識・技能】→①、【思考・判断・表現】→②、【主体的に学習に取り組む態度】→③

※授業内容を前倒し、あるいは一部順番を入れ替えて行う場合があります。

月	単元	学習内容	評価の観点	考查等	資質・能力
4	(地理分野) 第2編 2章 世界から見た日本の姿 1節 世界から見た日本の自然環境 (6)	世界の地形 日本の山地と海岸 日本の川と平地 地形の読み取り方① 世界から見た日本の気候 自然災害と防災への取り組み	2章 ①日本の自然環境に関する特色、日本の人口に関する特色、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色、国内各地の結び付きや日本と世界との結びつきの特色、日本の国土の特色を理解している。また、地域区分する技能を身に付けている。②	単元テスト 1学期中間考查	ABCDEFIL
5	2節 世界から見た日本の人口 (2)	世界の人口分布と変化 日本の人口と過疎・過密問題	②自然環境、人口、資源・エネルギー、交通・通信について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などについて着目して、多面的・多角的に考察し表現している。／日本の地域的特色を、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。		
	3節 世界から見た日本の資源・エネルギー産業 (4)	世界の資源・エネルギーと産業 日本の資源・エネルギーと環境問題 日本の農林水産業 日本の工業 日本の商業・サービス業	③日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。		
	4節 世界と日本の結びつき (2)	グローバル化が進む世界 日本各地を結ぶ交通・通信			
6	3章 日本の諸地域【35】 1節 九州地方 (5)	九州地方の生活の舞台 九州地方の人々の営み 多様な環境問題と環境保全の取り組み 工業化・都市化にともなう地域への影響 持続可能な社会をつくる	3章 ①幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。／自然環境、人口や都市・村落、産業、交通や通信、その他の事象を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象やそこで生ずる課題を理解している。	単元テスト 1学期期末考查	ABCDEFIL
	2節 中国・四国地方 (5)	中国・四国地方の生活の舞台 中国・四国地方の人々の営み 都市の役割とその課題 高齢化が進む農村と町おこし 交通網の発展による地域の変化	②日本の諸地域において、それぞれ自然環境、人口や都市・村落、産業、交通や通信、その他の事象で扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。③日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。		
7	3節 近畿地方 (5)	近畿地方の生活の舞台 近畿地方の人々の営み 古都の成り立ちと現在 都市と郊外の成り立ち 現代に開発されたニュータウン			
8	4節 中部地方 (5)	中部地方の生活の舞台 中部地方の人々の営み 工業の発展と地域の変化 自然環境を生かした各地の農業 世界と結びつく中部地方			
9	5節 関東地方 (5)	関東地方の生活の舞台 関東地方の人々の営み 首都・東京と各地との結びつき 各地との結びつきで成り立つ産業と生活 世界への窓口・日本の中心			
	6節 東北地方 (5)	東北地方の生活の舞台 東北地方の人々の営み 祭りや芸能、年中行事の伝統とその始まり 伝統的を生かし、生まれ変わる伝統産業 過去からの継承と未来に向けた社会づくり		単元テスト 1学期期末考查	ABCDEFIL
	7節 北海道地方 (5)	北海道地方の生活の舞台 北海道地方の人々の営み 自然の制約に適応する人々 自然の制約や社会の変化を乗り越える 自然の特色を生かした観光産業			
10	4章 身近な地域の調査 (7)	身近な地域を見直そう 地形図の読み取り方 テーマを決めて調査計画を立てよう 野外観察や聞き取り調査をしよう 資料を調べて調査を深めよう 調査結果をまとめ、地域を見直そう 発表会をして地域の将来像を考えよう	4章 ①観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解している。／地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。／地域の実態や課題解決のための取り組みを理解している。／地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解している。 ②地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。／地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこでみられる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。③地域調査を踏まえ、地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそ		

1	(歴史分野) 4章 近世の日本 第2節 江戸幕府の成立と鎖国 (4) 第3節 産業の発達と幕府政治の動き (9)	江戸幕府の成立と支配のしくみ さまざまな身分と暮らし 貿易の振興から鎖国へ 鎖国下の対外関係 農業や諸産業の発達 交通路の整備と都市の繁栄 幕府政治の安定と元禄文化 享保の改革と社会の変化 田沼の政治と寛政の改革 新しい学問と化政文化 外国船の出現と天保の改革 章のまとめ(2時間)	こで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 4章 ①幕府と班による支配の確立について、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化について、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。②江戸幕府の成立と対外関係、産業の発達と町人文化、幕府の政治の展開について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。／近世の日本を大観して、時台の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。③近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	単元テスト 2学期中間考査	ABCDEL M
1	5章 開国と近代日本の歩み 章の導入 (1) 第1節 欧米の進出と日本の開国 (8)	章の導入 近代革命の時代(2時間) 産業革命と19世紀のヨーロッパ ロシアとアメリカの発展 ヨーロッパのアジア侵略 開国と不平等条約 尊王攘夷運動と開国の影響 江戸幕府の滅亡	5章 ①欧米諸国が近代者社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。／明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。／立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。／我が国で近代産業が発達し、近代文化が形成されたことを理解している。②欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。／近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。③近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。		ABCDEL M
1	第2節 明治維新 (8)	新政府の成立 明治維新の三大改革(2時間) 富国強兵と文明開化 近代的な国際関係 国境と領土の確定 自由民権運動の高まり 立憲制国家の成立			
1	第3節 日清・日露戦争と近代産業 (8)	欧米列強の侵略と条約改正 日清戦争 日露戦争 韓国と中国 産業革命の進展 近代文化の形成 章のまとめ(2時間)			
2	6章 二度の世界大戦と日本 章の導入 第1節 第一次世界大戦と日本 (7)	章の導入 第一次世界大戦 ロシア革命 国際協調の高まり アジアの民族運動 大正デモクラシーと政党内閣の成立 広がる社会運動と普通選挙の実現 新しい文化と生活・章のまとめ	6章 ①第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。／軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。②第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現、第二次世界大戦と人類への惨禍について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。／近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。③近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	単元テスト 2学期期末考査	ABCDEL M
3	第2節 世界恐慌と日本の中国侵略 (5)	世界恐慌とブロック経済 欧米の情勢とファシズム 昭和恐慌と政党内閣の危機 満州事変と軍部の台頭 日中戦争と政治体制・節のまとめ			